

2022年度少林寺拳法神奈川県大会 実施要項

1. 目的 少林寺拳法神奈川県大会は、少林寺拳法の技法を手段として、広く各層の県民を参集して身心の健全育成を図り、潤いのある心豊かな県民生活の確立を目的に開催します。
また、2022年は11月に大阪府で全国大会が開催されます。
本大会は、その選考会ならびに県連盟内所属拳士の技術向上と連帯感構築を兼ねた大会でもあります。
2. 主催 神奈川県少林寺拳法連盟
3. 後援 神奈川県、神奈川県教育委員会、県内各市、各市教育委員会、神奈川県スポーツ協会、神奈川新聞社、tvk（テレビ神奈川）等予定
4. 日時 2022年7月3日（日） 9：00～16：00
5. 会場 横浜武道館 アリーナ（2階）、多目的室（1階）
6. 参加資格 一般財団法人少林寺拳法連盟会員規定に基づく義務を果たし、神奈川県少林寺拳法連盟に所属する拳士とします。
従って、参加申込み時点で一般財団法人少林寺拳法連盟の会員（道院拳友会の場合は兼籍）登録が完了していないと一切参加は認めません。
7. 種目 大会の種目と出場資格等を表-1に示します。
競技は少林寺拳法競技規則、少林寺拳法審判規則に基づき実施します。
尚、今回は全中大会の予選を兼ねません。（5月22日に選考会を開催）
8. 参加費、所属分担金
 - ・参加費 拳士1人当り 1種目 1,000円
 - ・所属分担金1所属当り
 - ①県連加盟 20,000円（参加なしでも 道院・スポ少）
 - ②県連準加盟 10,000円（参加ありのみ 実業団、大学、高校等）

※運用法は組演武の出場が前提のため：2,000円
※団体演武+組演武：2,000円
※団体演武+単独演武：2,000円
※論文の部+団体演武+組演武：3,000円

9. 申し込み方法、問い合わせ先

表-1 ならびに細則を十分に確認の上、以下により参加申込みを行ってください。

(1) 参加者申込書と財団登録済の確認※

送付先 相模原中央スポーツ少年団支部 藤川 洋一

Eメールアドレス jet-li@withe.ne.jp

※参加申込書のエクセルデータは県少林寺拳法グループHPよりダウンロードする。

※参加拳士の2022年度の財団登録済の確認として、所属マイページの「兼籍情報紹介」ページのコピー（すべての参加拳士分）を添付する。

(2) 参加費と分担金の納入方法

納入口座 金融機関 : ゆうちょ銀行

口座名称 : 少林寺拳法神奈川県連盟

記号-番号 : 10240-77836221

(3) 参加申込み、各費用納入の締切り

5月29日（日）です。

※これ以降の参加申込は一切受け付けしません。

(4) お問い合わせ先及び全国大会論文の部 送付先

大会事務局（神奈川県少林寺拳法連盟 事務局）

〒221-0865 横浜市神奈川区片倉2-5-8 三枝 勝巳

Eメール ksnsi@mud.biglobe.ne.jp

以上

【表－1】出場資格

※条件として示す年齢は2022年度末時点での年齢とする

No.	種目	全国大会 種目	演武内容	出場資格
1	一般男子マスターズAの部	○	自由	・2022年度内で45才以上の男性。両者の年齢合計が109才以下。 ・武階不問。男女の場合は男子の部。(女子は35才以上)
2	一般男子マスターズBの部	○	自由	・2022年度内で45才以上の男性。両者の年齢合計が110才以上。 ・武階不問。男女の場合は男子の部。(女子は35才以上)
3	一般女子マスターズの部	○	自由	・35才以上の女性。武階不問。
4	一般男子五段以上の部	○	自由	・2022年度内に19才以上で、かつ大学生(以下、院生も含む)、 高校生でない者。ただし、19才以下であっても高校生でない者は 認める。 ・どちらか一方の者が大学生、高校生である場合は認める。 ・女子護身技法の部を除き、男女混合は認めない。 ・中学生以下は、出場不可。
5	一般男子三段、四段の部	○	自由	
6	一般男子初段、二段の部	○	自由	
7	一般男子級拳士の部		自由	
8	一般女子三段以上の部	○	自由	
9	一般女子初段、二段の部	○	自由	
10	一般女子級拳士の部		自由	
11	女子護身技法の部	○	規定あり	
12	大学生男子の部	○	自由	・学校教育法で定められた大学(短大含む)、それに相当すると認めら れる大学、または学生連盟に加盟している大学に在籍する者。
13	大学生女子の部	○	自由	・高専生は4年生以降とする。 ・武階、学年、年齢は不問。男女の場合は男子の部。
14	高校生男子の部	○	自由	・学校教育法で定められた高等学校(全日制、定時制、通信制)に在籍 する者。高専生は3年生までとする。
15	高校生女子の部	○	自由	・武階、学年、年齢は不問。男女の場合は男子の部。
16	中学生男子の部	○	自由	・義務教育としての中学校に在籍する者。
17	中学生女子の部	○	自由	・武階、学年、年齢は不問。男女の場合は男子の部。 ・中学生と小学生の組み合わせは認めない。
18	小学生の部A	○	自由	・4年生以上同士またはどちらかが4年生以上の小学生。 ・武階、性別は不問。小学生以外は出場不可。
19	小学生の部B	○	自由	・3年生以下の小学生。 ・武階、性別は不問。小学生以外は出場不可。
20	親子の部	○	自由	・子どもは中学生以下に限る。両者とも武階、性別は不問。 ・祖父母と孫の組み合わせも認める。三人掛不可。
21	夫婦の部	○	自由	・武階、年齢は不問。
22	マイシードの部	○	自由	※別に定める。
23	一般団体の部		自由	・2022年度内で13才以上の者で6名か8名で組む。(補欠2名登録可) ・武階、年齢、性別は不問。
24	小学生団体の部		自由	・小学生で6名か8名で組む。(補欠2名登録可) ・武階、学年、性別は不問。小学生以外の構成は認めない。
25	男子・女子運用法の部	○	---	・初段以上で高校生以上の者。男女混成は認めない。 ・当該県大会において、他の全国大会種目(論文の部を除く)に出場 していること。 ・所属の代表者が県で指定する説明会(5/22予定)に参加すること。
26	男子単演の部		自由	・高校生以上の男性。 ・武階は不問。
27	女子単演の部		自由	・高校生以上の女性。 ・武階は不問。
28	中学生単演の部		自由	・中学生の男女。 ・武階は不問。
29	小学生単演の部A		規定 ※初段は自由	・4年生以上の男女。 ・武階は不問。
30	小学生単演の部B		規定	・3年生以下の男女。未就学児も出場可。 ・武階は不問。
31	修練発表の部		自由	・武階、年齢、性別、人数不問。
32	論文の部	○	---	・小学生5年生以上の者。(上限年齢制限なし) ・他の種目との重複出場を認める。

細則

1. 全種目に適用する事項

- (1) 出場資格は、【表-1】に定める通りとする。
- (2) 出場者は、一般財団法人少林寺拳法連盟会員規程に基づく義務を果たしていること。
 - ・2022年度現役会員であること。(参加申し込み時点で登録が完了していること。)
- (3) 少林寺拳法競技規則、少林寺拳法審判規則に基づき実施する。
 - ・2022～2025年度考試員審判員講習会資料を十分に確認すること。
 - ・少年部・中学生で禁止されている受身、武階相当技、禁止技、攻撃技等。
- (4) 出場種目は組演武種目を複数兼ねての出場、及び単独演武種目を複数兼ねての出場は認めない。
但し、団体演武と組演武・単独演武の複数出場は可とする。
- (5) 演武者・運用法実施者の組合せは、県内であれば所属(支部、少林寺拳法部、拳友会)は不問とする。
- (6) 修練発表の部・マイシードの部を除き、三人掛けは不可。(団体演武構成においても三人掛は不可)
- (7) 有段者の種目の使用技は、次の通りとする。
 - ・武階の異なる拳士と組む場合を含めて、各々の武階に応じた範囲までとする。
例) 三段の拳士が二段の拳士と組む場合
三段の拳士が守者の際は、三段で習得する科目(四段科目)まで。
二段の拳士が守者の際は、二段で習得する科目(三段科目)まで。
※ 攻撃については、守者の使用する科目に合わせ、武階に関する制限はない。
※ 六段科目「羅漢圧法」の単独技としての使用は不可。
- (8) 服装、防具、武器等について
 - ・服装は「服装規定」に準じる。なお規定に違反した場合は**失格**とする。
 - ・相手または自身に危険を及ぼすようなものは、一切身に付けてはならない。
 - ※ メガネ、ハードコンタクト、金属・プラ製等の髪留め、装飾品(ネックレス、指輪、イヤリング等)
 - ※ 髪留めはゴム製のみ。
 - ※ やむを得ずメガネ等の着用の必要がある場合は、別途上申書を提出する。
 - ・負傷箇所の保護目的以外のサポーター、テーピングは使用禁止。(出場時コートで主審に申し出る。)
 - ・胴の使用は認める。(少林寺拳法連盟公認防具のみ)
 - ・法器、武器は使用禁止。
 - ・掛け声的な不用意な奇声や気合は減点対象とする。
- (9) 出場申込時の資格(武階)に関する特別処置について(全国大会種目のみに適用)
 - ・全国大会種目出場において、下記の場合は、その取得見込の資格での出場申込及び出場を認める。
 - ※全国大会種目出場は8月20日(土)までに昇級昇格が見込まれる場合。
 - ・取得見込の資格で認められる技で構成された演武を行うことを認める。
 - ※取得見込の資格に8月20日(土)の時点で達していない場合は全国大会の出場を認めない。
 - ※現資格と取得見込の資格で帯の色が異なる場合には、現資格に応じた帯で出場すること。
 - ※県大会参加申込書の資格欄には丸カッコをつけて記入のこと。例:(初段)
 - ※全国大会種目以外は申し込み後から県大会までに昇級昇格しても参加申込時の資格で出場すること。
- (10) 大会実施における新型コロナウイルス感染症予防対策について
 - ・会場内ではマスク着用のこと。
 - ・マスクは不織布製の白色とする。
 - ・演武中もマスク着用とし、有声の気合は無しとする。ただし、気合が出た場合の減点はしない。
 - ・演武開始時及び終了時のコートへの出入り時には、手指のアルコール消毒を行うこと。

2. 男女の組による組演武に適用する事項

(1) 「女子護身技法の部」について

すべての構成において、男性が攻撃を仕掛けていくのに対して女性が守者となり最後の極めを行う。女性の反撃から男女の攻守が入れ替わりながらの攻防は可とするが、男性の極めが生じた場合は15点減点とする。

※出場者は規定内容チェックシートを確認し、競技の点呼の際に提出する。

(2) 「一般男子マスターズの部A・B」「大学生男子の部」「高校生男子の部」「中学生男子の部」について

男性同士の組、男女の組ともに、攻者、守者の指定、極めの指定は無し。

3. 武階が指定されている種目に適用する事項

(1) 異なる武階組合せの許容範囲について

武階が指定されている種目については、指定の武階の拳士と組み、該当する種目に出場することを原則とするが、下記の通り異なる武階の組み合わせを認める。

種目	組み合わせ
一般男子五段以上の部	・両者五段以上であれば武階の差は不問。 ・五段と四段の組み合わせのみ認める。(下位は四段まで) ・四段と組む場合の武階差は1階級まで。(例：六段と四段は不可)
一般男子三段、四段の部	・両者同じ武階、または三段と四段の組み合わせとする。 ・三段と二段の組み合わせのみ認める。(下位は二段まで) ・武階差は1階級まで。(例：四段と二段は不可)
一般男子初段、二段の部 一般女子初段、二段の部	・両者同じ武階、または初段と二段の組み合わせとする。 ・初段と1級の組み合わせのみ認める。(下位は1級まで) ・武階差は1階級まで。(例：二段と1級は不可)
一般女子三段以上の部	・両者三段以上であれば武階の差は不問。 ・三段と二段の組み合わせのみ認める。(下位は二段まで) ・二段と組む場合の武階差は1階級まで。(例：四段と二段は不可)
一般男子級拳士の部 一般女子級拳士の部	・両者級拳士(見習含む)であれば武階及び武階の差は不問。
女子護身技法の部	・両者有段者であれば武階の差は不問。 ・初段と1級の組み合わせのみ認める。(下位は1級まで)

4. 「宙で回転する受身」に適用する事項

(1) 「一般男子マスターズAの部」「一般男子マスターズBの部」「一般女子マスターズの部」「中学生男子の部」「中学生女子の部」「小学生の部A」「小学生の部B」について

- ・「宙で回転する受身」を禁止とする。
- ・「宙で回転する受身」を使用した場合は15点減点。
- ・「一本背投」「肩車」に対して大車輪を用いて両足で着地する受身は使用可。

(2) 上記(1)以外の各種目について

- ・「宙で回転する受身」について、減点対象となる事項を設ける。
受身が不十分で危険を伴う内容とみなされた場合は総合点より5点減点とする。
また、攻防に適合していない(守者の体捌き、並びに技の成立条件が不十分な状態で自ら無理に飛ぶ)「宙で回転する受身」は該当する構成の技術度の採点より、各審判員が1点減点とする。
- ・体の側面から落下している、背中、臀部から落下しているものなどは受身が不十分とみなす。
- ・受身が不十分であると疑義が生じた場合は、該当コートの審判員の協議を行う。
- ・攻防に適合していない(自ら無理に飛ぶ)「宙で回転する受身」は各審判員の判断による。

5. 団体演武に適用する事項について

(1) 原則、団体1組あたり1名か2名の補欠申し込みをする。

補欠は、大会当日までに正規出場者が何らかの理由（傷病等）により出場できなくなった場合のみ交代を認める。
補欠が出場する場合は、出場組の所属長より、速やかに競技担当へE-Mailで連絡する。口頭連絡は受け付けない。
なお、8名でエントリーしているところ、大会当日までに2名取消をして6名で演武することは認める。

(2) 使用技は、出場する拳士の最上位資格者（武階）が使用できる技までとする。

- ・六段科目「羅漢圧法」（有段者科目表参照）の単独技としての使用は不可。
- ・中学生は「宙で回転する受身」の使用は禁止。

(3) 演武構成

- ・1構成目と6構成目は単独演武、2～5構成目は二人一組での組演武を以て編成する。

この条件に合わないときみなされた場合は総合点から10点減点される。

- ・団体演武で用いる単独演武は、以下の単演基本法形より選択し、一方向のみ行う。

天地拳第一～六系、義和拳第一、二系、龍王拳第一、三系、龍の形（逆小手単演）、紅卍拳、白蓮拳第一系

- ・各構成の動きは各組が同一の動きを行う。各組が違う動きをしているときみなされた場合は総合点から10点減点される。
- ・小学生は、号令・気合を合図として用いることを認める。

6. 単演の部に適用する事項

(1) 「男子単演の部」、「女子単演の部」、「中学生単演の部」について

- ・資格別に指定された以下の単演基本法形または、習得科目から六つ（重複不可）を選択して構成する。

※ 有段者

天地拳第一～六系、義和拳第一、二系、龍王拳第一系、逆小手単演、紅卍拳、白蓮拳第一系

※ 1級～3級拳士（逆小手単演は前指固と裏固のいずれでも可）

天地拳第一～六系、義和拳第一、二系、龍王拳第一系、逆小手単演、白蓮拳第一系

※ 4級～見習拳士

天地拳第一～四系、義和拳第一、二系、龍王拳第一系、逆小手単演

(2) 「小学生単演の部A」、「小学生単演の部B」について

- ・演武内容は、全日本少年少女武道（少林寺拳法）練成大会の規定演武とし、演武時間の計測は行わない。
ただし、少年部初段の拳士は以下の単演基本法形または、習得科目から六つ（重複不可）を選択して構成する。
※天地拳第一～六系、義和拳第一、二系、龍王拳第一系、逆小手単演、紅卍拳、白蓮拳第一系

7. 小学生の部A・Bに適用する事項

- (1) 原則、同じ武階の拳士と組むこと。武階の異なる拳士と組む場合、武階の近い拳士同士で組むことが望ましい。

- (2) 演武内容は、自由組演武とする。演武時間は1分～1分30秒以内とする。

ただし、小学生の部Bに限り、時間の不足に対する減点を行わない。

- (3) 少年部初段の拳士が使用できる技は、一般初段の習得科目（二段科目）までとする。

8. 親子の部に適用する事項

- (1) 演武時間は1分～1分30秒とする。

- (2) 全ての構成において剛法、柔法問わず、子どもが各構成最後の技の極め、固めを行う。

また、子どもに対する逆技（極め、固め、投げ）は構成全体で禁止する。

違反の場合は総合点より15点減点とする。

9. 運用法に適用する事項

(1) 2名1組で申し込むこと。

※ レフリーの出場はなし。大会審判員にて審判を行う。

(2) 防具については下記の通り。

上段 少林寺拳法連盟公認ヘッドガード（黒または赤）

中段 少林寺拳法連盟公認ボディプロテクター

下段 ファールカップ【男子のみ】（メーカー、仕様不問）

※道衣（下）の内側に着用する。

手 少林寺拳法連盟公認拳サポーター



(3) 実施方法について

2022年少林寺拳法全国大会 in OSAKA 運用法の部 実施要領に準じて行う。

今年度より発表内容の向上を目的として、申込時の組み合わせで双方攻守による発表とする。

時間は、1分（実働タイム）とする。

※ 評価方法は、攻撃や反撃をとにかく極めるといったポイント制をみるのではなく、双方の攻防の動き、技の習得度、防御から反撃への足捌き、体捌きや技を体系的に練り上げているか（戦術の修得度）など、また特に礼儀作法（審判、相手に対するマナー）を重視する。

以上、拳（技術）と禅（心）の両面で審査する。

(4) 出場資格（条件）について

・当該神奈川県大会において、論文の部を除く他の全国大会種目に出場していること。

（団体の部、単演の部、修練発表の部の出場では、運用法の部の出場は認めない）

・所属の代表者が、神奈川県で予定している運用法の実施内容に関する説明会（5/22 予定）に参加すること。

10. マイシードの部について

(1) 参加資格

- ・ 一般財団法人少林寺拳法連盟会員規程に基づく義務を果たしていること。（現役会員）
- ・ 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳のいずれかの交付、または医師より障がいの診断を受けている者。
- ・ 障がい及び度合は不問。
- ・ 年齢、性別は不問。
- ・ 引率責任者が終始同伴できること。（開会式等の整列時や演武実施時のコート待機も含む）

(2) 演武内容

- ・ 単独演武、組演武、団体演武のいずれも認める。
- ・ 組演武、団体演武においては、健常者との組み合わせ、混成を認める。（人数比率は不問）
- ・ 介護者同伴の演武を認める。
- ・ 三人掛けも認める。
- ・ 演武に際し、車いす・杖等の補助器具の使用を認める。
- ・ 武器・法器の使用は認めない。
- ・ 演武は発表のみとし、計時・採点・点数表示は行わない。

(3) 参加資格の確認

大会事務局より所属長に参加資格を確認する。

(4) 注意

- ・ 本種目の対象者であっても、他種目への出場は妨げない。
- ・ 会場の大きさや来場者数の多さ等、特殊な環境要因によって発作等を引き起こす危険がある場合は大会参加の是非を慎重に判断すること。
- ・ 発作等の症状によって救急病院での診察・治療も想定し、健康保険証等、治療に要するものを携行すること。

1 1. 論文の部について

(1) テーマ

- A 少林寺拳法を通じて見つけた希望・私の夢
- B 少林寺拳法を始めてからの自分の変化について
- C 幸福運動、自他共楽の実践について
- D 平和のために私ができること

(2) 申込要領

- ・ 上記A～Dの中から、ひとつテーマを選択しテーマに基づいて作文（弁論発表できる文言で執筆）し5月29日（必着）までに大会事務局に郵送またE-Mailにて原稿を送付する。
- ・ 提出された作文は返却しないので必要に応じて各自で複写物を保管すること。

(3) 選考方法

- ・ 1次選考 提出された作文を事前審査し、上位3名を選考する。（6月上旬に所属長へ連絡）
- ・ 2次選考 6月19日に選考された3名で弁論発表を行い1名を最終選考する。
- ・ 大会当日は最終選考者1名の弁論発表を行う。
- ・ 執筆内容（文言）と弁論発表が異なることは認めない。

(4) 作文の仕様

- ・ 下記原稿用紙に、表紙1枚、本文4枚以内で作文する。
- ・ 用紙は、A4サイズ縦書き（原稿用紙横）20字×20字（1枚400字詰め）を使用する。既定サイズ以外の用紙は受け付けない。
- ・ 原則、参加者本人による手書き、またはワープロ出力にて作成。代筆が必要な場合は、大会事務局に申し出て、別途理由書を提出する。
- ・ 手書きの場合は、楷書にて丁寧に筆記し、コピーをしても明瞭であるよう文字は大きく濃く書き、原本を提出のこと。判読しづらい場合は減点することもある。
- ・ 表紙には、テーマ、都道府県名、所属連盟、所属団体名（支部・少林寺拳法部・拳友会）、氏名（フリガナ）、武階、年齢を記入する。
- ・ 本文は、1行目にテーマ、次の行より本文を書き始める。
- ・ ページ数をつけ、表紙と共にクリップで綴じる。（ホチキス止め禁止）

1 2. その他

本大会は、新型コロナウイルス感染症予防対策を厳重に実施して行います。大会参加者・関係者に対するガイドラインは、社会動向と行政の注意喚起などを見極めながら、段階的に通知いたします。

今後の発信に十分ご注意ください。

また、上記の関連から、本大会の運営について各種の変動・変更がある場合も想定されます。

参加にあたっては、予めご了承のうえ、柔軟にご対応くださるようお願い申し上げます。

※本細則に添付の「新型コロナウイルス感染症防止対策チェックシート」は、大会当日に所属長、または引率の代表者が、受付に提出し入館すること。

2022年度少林寺拳法神奈川県大会 出場に関する上申書

年 月 日

神奈川県少林寺拳法連盟

理事長 小磯 信一 様

所属名 _____

所属長名 _____

出場種目
出場者名
内容
理由

本大会開催中に上記の内容をもとにした事故や負傷をした場合において、
自己の責任であることを承諾し、大会主催者を含む関係者に異議を申し
立てず、責任も問わないことを誓約します。

署名 (出場者もしくは保護者※)

※出場者が未成年である場合は、保護者が署名すること。

2022 年度少林寺拳法神奈川県大会 女子護身技法の部 規定内容チェックシート

※参加所属にて、太枠内の必要事項を記入してください。

種目	女子護身技法の部	所属	
氏名【武階】		氏名【武階】	
【 】		【 】	

実行委員会記入欄						
No.		予選	コート		審査順	
		本選	コート		審査順	

・規程確認欄

指定科目一覧、【確認事項】記載内容を確認したうえで、確認済みである確認項目の「確認欄」に○印を記入してください。

	確認項目	確認欄
1	すべての構成において、男性が攻撃を仕掛けていく。 ※構成の攻防の開始は男性が攻者、女性が守者となる。	
2	すべての構成において、構成の途中で男性の極めはない。 ※構成の途中において、女性の反撃から男女の攻守が入れ替わりながらの攻防は可とする。	
3	すべての構成において、最後の極めは女性が行っている。 ※男性の攻撃に対する女性の受けで、構成が終わることは可。	

【確認事項】

すべての構成において、男性が攻撃を仕掛けていくのに対して、女性が守者となり、最後の極めを行う。女性の反撃から男女の攻守が入れ替わりながらの攻防は可とするが、男性の極めが生じた場合は15点減点とする。

- ・技術度については「男性の攻撃内容に見合った女性の防御、反撃」や「当身の五要素を踏まえて、女性が男性を制している」という視点により審査する。
- ・表現度「構成、リズム、節度」については、男性の攻撃に対して女性が守り、男性を制している過程を表現していることを視点とする。

※演武の形式ではあるが、その中で「護身の技法」を女性が表現することを趣旨とする。

新型コロナウイルス感染症防止対策チェックシート

★空欄に必要事項を記入および、該当する項目に✓をしてください。

利用日時	令和 4 年 7 月 3 日 (日) 9:00~16:00 2階アリーナ		
所属名	道院拳友会 ・ 支部		
代表(引率)者名		電話番号	
入館人数	所属長 名、 拳士 名、 保護者 名、 その他 名 (合計 名)		

★上記室場・時間を一緒に利用される方、全員について下記のチェック項目をご確認ください。

★下記のチェック項目が一つでも当てはまらない場合は、利用を自粛してください。

チェック項目	
<input type="checkbox"/>	利用当日（本日）の体温に異常がない。
<input type="checkbox"/>	本日及び利用前2週間において、以下の事項に一つも該当しない。 ①平熱を超える発熱 ②咳（せき）・のどの痛みなど風邪の症状がある ③強いだるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難） ④嗅覚や味覚の異常 ⑤体が重く感じる、疲れやすい等の症状がある ⑥新型コロナウイルス感染症「陽性」とされた者との濃厚接触があった ⑦同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる ⑧過去14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある
<input type="checkbox"/>	飛沫飛散防止対策としてマスクを持参している、またはハンカチやタオル等で口元を覆う対策ができています。（受付・着替え等の運動・スポーツ活動を行っていない間の会話時のため）
<input type="checkbox"/>	こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
<input type="checkbox"/>	感染防止のため、施設管理者が決めた措置を遵守し、施設管理者の指示に従う。
<input type="checkbox"/>	利用中に大きな声で会話、応援等をしない。
<input type="checkbox"/>	他の利用者、施設管理者等との距離（できるだけ2m以上）を確保する。 ※障がい者の誘導や介助を行う場合を除く
<input type="checkbox"/>	利用前後のミーティング等においても、「3密（密接・密室・密閉）」を避ける。
<input type="checkbox"/>	利用者は、利用後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに濃厚接触者有無等について施設に連絡することに同意する。
<input type="checkbox"/>	代表者（記入者）は、一緒に利用する人全員の名前と連絡先を把握しており、施設からの問い合わせがあった場合に、リストを提出することができる。

○個人情報の取扱いについて

- 1 提供を受けた個人情報は、「横浜市個人情報の保護に関する条例」に基づき適切に取り扱います。
- 2 個人情報の収集・利用・管理は、横浜市及び施設管理者が行います。
- 3 提供いただいた個人情報は、利用日から30日間金庫内等で厳重に管理いたします。また、保管期間経過後は適切に破棄します。
- 4 新型コロナウイルス感染症の防止対策の目的以外で、同意を得ずに利用及び第三者への提供を行うことはありません。
ただし、次のいずれかに該当する場合を除きます。
 (1) 行政機関等から、法令に基づき情報の開示を求められた場合
 (2) 人の生命、身体又は財産を保護するために、緊急かつやむを得ないと横浜市が判断した場合